



梅雨（つゆ）は春から盛夏への季節が移り変わる時期に雨や曇りの日が多く現れる季節現象です。停滞前線（梅雨前線）が、南北に移動を繰り返しながらゆっくり北上します。梅雨前線が四国付近で停滞して活発化すると、大雨で災害が発生する反面、夏期の湯水に対しては恵みの雨でもあります。

## 「AIが奪う仕事」3位は建築設計

ChatGPTなどの生成AI(人工知能)が3億人の仕事を奪うと予測した調査報告書が話題だ。影響を受けやすい職業の3位に「建築設計・エンジニアリング」が入った。建築設計者はどう向き合うべきか。

AIとデータによってあらゆる産業に破壊的な変化が起こっており、建築がこうした動きに影響されないと考えてるのはナイーブだ――。

2022年11月、米ハーバード大学の住宅研究共同センターは「AIが建築産業にも破壊的な影響を与える」とのリポートをまとめた。この主張が、早くも現実によって裏付けられようとしている。画像や文章、音楽などを生み出す「生成AI」が建築の実務を急速に変え始めたからだ。

米オープンAIが22年11月に公開した「ChatGPT」が世界を席巻している。ユーザーの質問や指示からテキストなどを生み出す生成AIの一種。単純な質問に答えるだけでなく、文章の推敲(すいこう)や要約、プログラムコードの修正も可能だ。世界中の開発者がサービス開発合戦を繰り広げている。建築業界も例外ではない。

【図1】AIが自動化する仕事の割合

順位	職種、専門分野	AIが自動化する仕事の割合(%)
1位	事務・行政サポート	47
2位	法務	44
3位	建築設計・エンジニアリング	37
4位	生命科学・物理科学・社会科学	36
5位	財務	35
6位	コミュニティー・社会サービス	33
7位	経営	32
8位	営業	31
9位	コンピューター、数学	29
10位タイ	農業、漁業、林業 など	28

米ゴールドマン・サックスが3月にまとめた調査報告書で示したランキング。米国内の職業が対象。ホワイトカラーの職種ほどAIによって自動化されるとした(資料:米ゴールドマン・サックス)

米ゴールドマン・サックスは3月26日、「生成AIが世界で3億人相当の仕事を置き換える恐れがある」とする報告書を公表した。米国で自動化の影響を受ける職業のランキングも推計し、1位の「事務・行政サポート」、2位の「法務」に続き、「建築設計・エンジニアリング」が3位に入った(図1)。

「労働市場全体に大きな混乱をもたらす」とし、全業種平均で最大25%の業務がAIによって完全に代替されると予測した。

実際、米国では建築分野で生成AIの実務への導入事例が生まれている。ChatGPTが得意な文章要約や校正機能を使った書類管理が代表例だ。建築系のプロジェクトマネジメントツールを提供する米Ezelogisによれば、複数の建設会社や建築設計事務所が、行政や建て主への図面・工事書類の管理に既に導入しているという。

ChatGPTに書類を読み込ませ、過去の書面との整合性をチェックしたり、承認プロセスを自動化したりすることで省力化した。同社の担当者は「ChatGPTが建築業界に与える影響は大きい」とコメントした。

文章を生み出すChatGPTだけでなく、画像を生成するAIも建築と相性がいいツールの1つだ。

ソフトウェアエンジニアのハッサン・ムガリー氏が開発した「ルームGPT」は、内装パースの自動化ツール。「リビング」「書斎」など部屋の種別と、「近代的」「工業的」などテーマを設定し、実際の住宅の内観写真を読み込むと、その写真を基にテーマに沿った内装パースを自動で生成する。建て主に幅広いパターンのパースを提案する際に利用できそうだ。

ムガリー氏によると、2月後半の公開以来、既に15万人がアカウントを作成したという。

元記事:日経XTECHより

## 第28回 今月もウォーキングにお付き合いください

### 三成 哲也のウォーキング日誌



5月5日 JR新杉田駅～横浜シーサイドライン 海の公園柴口駅

孫の柊也からこどもの日に海の公園に潮干狩りに行くから爺も一緒に行こうと誘いを受けた。足の怪我も殆ど治っていたが少し心配だったのでGW前に病院で経過をみてもらい、大丈夫とお墨付きをもらい、潮干狩りに行くことにした。

当日の待ち合わせは「海の公園柴口」に9時。JR新杉田駅まで電車で行き待ち合わせの海の公園柴口まではウォーキングだ。1時間余りで着くだろうと予測をして新杉田駅を7時半過ぎに出発。雨の心配はなさそうだが、風が強い。新杉田駅から357号線に出てひたすら八景島方面に歩く。

緩めのスニーカーを履いてきたので怪我をした部分も締め付けられることなく、全く痛さは感じない。

海の公園へのウォーキングは自分の中では定番のようなもので、1年を通せば10回位は歩いているだろう。海の公園から平潟湾岸を通過して琵琶島神社にお参りして「金沢八景駅」から電車で帰ってくる、定番のコースだ。海が好きで、湘南海岸、三浦半島の城ヶ島、真鶴海岸といろいろな景勝地を歩いた。夏と冬は全く違う。昔々の話だが、稲村ヶ崎で女性と一緒に海を見ていたその娘が、

「波の形ってみんな違うんだよね、だから波の音もみんな違うの」とボソボソと言ったのを40年以上経った今でも覚えている。あれ以来、なぜか、もの悲しい冬の海が好きになった。夕日が落ちていく冬の海が。

三井アウトレットパークの最寄り駅である「鳥浜駅」を過ぎると八景島まで直線道路が続く。

沿線は倉庫、事務所しかなく全く退屈な通りだ。途中「幸浦二丁目」の信号を左折すると確かコストコがあったような気がする。さらに進むと東京湾だ。右折すると横浜高校の野球部のグラウンドある。朝早くからきびきびとウォームアップをする姿に伝統校の何とも言えない風格が漂っていたような気がした。

待ち合せの10分前に「海の公園柴口」に着いた。今日は長男夫婦と柊也の3人だけだ。二人のお姉ちゃんの姿はない。後で柊也に聞いてみると「二人とも日焼けするのが嫌なんだって」もうそんな年ごろか。

天気はいいが風が強い。あちこちでテントが飛ばされたり、変形している。まるで砂嵐だ。大変な人出だ。柊也はもう海に入っている。引き潮なので絶妙な潮干狩り日和だ。

収穫は、思ったよりアサリがとれていた。マテ貝もとれて柊也は得意顔だった。